

事業概況

産業電池電源事業

事業部長メッセージ

社会を取り巻く外部環境が急激に変化する中、当社も市場の変化に遅れることなく着実に需要に対応していく必要があります。非常用分野においてはデータセンター向け需要の拡大とそれに伴う当社保有技術のニーズ拡大が見込めますが、グローバルではリチウムイオン電池化の流れへの対応も必要だと考えています。常用分野では、今後もESSの市場拡大が見込めますが、競争が激化する中でのスピード感を持った対応が課題です。

フォークリフト分野については、バッテリー式への移行が依然として機会ではありますが、海外ではリチウムイオン電池化の動きが進んでおり、リスクにもなり得ます。

第六次中期経営計画期間は、Vision 2035における「事業

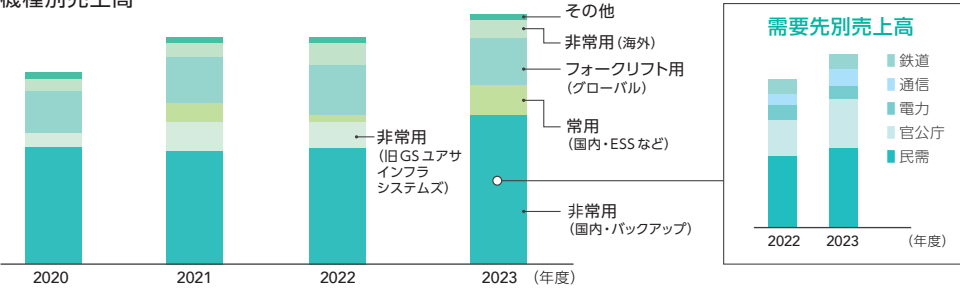
(株)GSユアサ 常務取締役
産業電池電源事業部長
谷口 隆



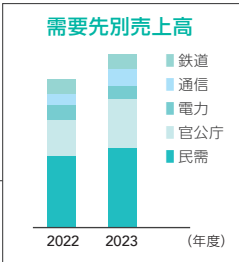
基盤の構築」期間とし、稼ぐ力の強化を図っています。お客様とともに社会的な課題のソリューションを果たしていくことが、結果として「稼ぐ力」を増やすことに繋がると考えます。非常時のみバックアップに用いられていた非常用分野から、再生可能エネルギーの変動を抑制するために、常に充放電を行う常用分野へと事業の幅が広がったことで、今後当社が持続可能な社会インフラの実現のために果たす役割はますます大きくなっていくと考えます。

基本情報

機種別売上高



(注) 2022年度よりサブセグメントを見直し、従来の「海外」に含まれていた「フォークリフト用」を「フォークリフト用(グローバル)」に移管しています。そのため、2020年度～2021年度も変更後の区分で表示しています。また、2023年度よりGSユアサ インフラシステムズを産業電池電源事業に統合しています。



拠点数(2024年3月31日時点)

生産・販売
8拠点
サービス網
100カ所以上

SWOT分析

■ 国内での高いプレゼンス ■ 全国に広がるサービス網とコトづくりによる安心・安全の提供 ■ 設計から製造・施工、メンテナンスまでの一貫体制 (All in one)	■ 海外における低いシェア ■ 自社製リチウムイオン電池によるフォークリフト用電池の開発遅れ ■ 古い建屋・設備の残っている国内工場
■ 再生可能エネルギー市場の拡大に伴う環境配慮製品の需要拡大 ■ BESS (Battery Energy Storage System) の市場成長 ■ フォークリフト市場のバッテリー式への移行	■ 再生可能エネルギー市場での海外競合の進出 ■ フォークリフト市場でのリチウムイオン電池化の進展 ■ 鉛蓄電池からリチウムイオン電池へのシフトへの対応が遅れることによる機会損失

第六次中期経営計画の事業戦略

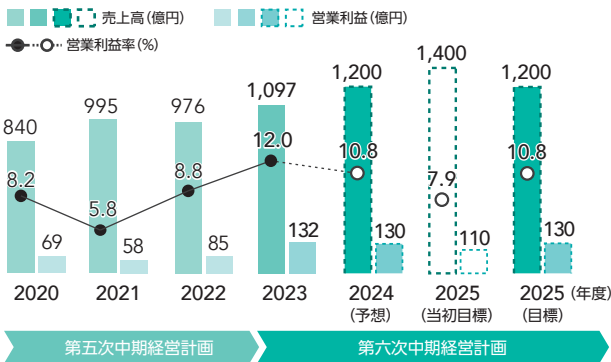
方針

次世代の成長を取り込む事業基盤の構築

戦略および重要課題

非常用分野(国内) ■ 圧倒的な優位性による利益の最大化 ▶ 今後の取り組み ■ 販売体制再構築による組織の最適化 ■ 鉛蓄電池の「環境循環型商品」へのイメージチェンジ	非常用分野(海外) ■ グローバル供給体制を構築し販売拡大 ▶ 今後の取り組み ■ 海外生産拠点への先行技術投入 ■ 2nd ブランド活用によるOEM調達推進
常用分野(国内) ■ 第二の事業の柱への布石 ▶ 今後の取り組み ● 旺盛な需要に対応するための生産能力の確保 ● PCSを併設したESS新商品による販売拡大	フォークリフト分野 ■ 鉛とリチウムイオン電池の共存共栄戦略で生き残り ▶ 今後の取り組み ■ フォークリフト用鉛蓄電池新工場の稼働による効率的な生産体制の構築 ■ タイをハブとしてアセアンを中心としたグローバル進出

売上高・営業利益・営業利益率



(注) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度は、変更後のセグメントにより記載しております。

2025年3月期の見通し

非常用分野 ● 原子力案件などで電池電源装置が好調
常用分野 ● 販売物量増加と収益性向上
フォークリフト分野 ● 他社製電池を活用し、フォークリフトのリチウムイオン電池化に対応

TOPICS フォークリフト用鉛蓄電池新工場が竣工

2024年3月、京都事業所内に新築したフォークリフト用鉛蓄電池新工場の竣工式を開催しました。新工場棟は3階建て延床面積約2万5,000㎡の広さがあり、フォークリフトや無人搬送車、電動車いすなどに使う鉛蓄電池を製造します。本工場は2025年6月から稼働予定です。



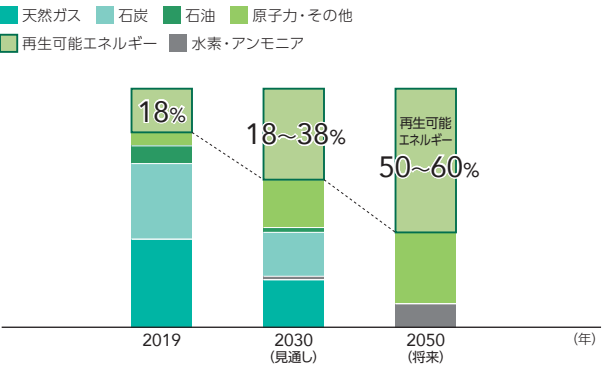
常用(再生可能エネルギー)分野の取り組み

市場環境

カーボンニュートラルの動きが加速するにつれ、風力や太陽光などの再生可能エネルギーが注目されています。国内では再生可能エネルギー関連の補助金制度が多数発表され、さまざまな施策で導入・活用が促されています。

このような環境下で、2050年には日本の電源構成における再生可能エネルギーは過半を占めると想定されています。

国内の電源構成の推移予想



出典: 資源エネルギー庁「2050年カーボンニュートラルの実現に向けた検討」
「第6次エネルギー基本計画の概要」をもとに当社作成

蓄電池の役割

再生可能エネルギーは、天候や時間帯によって発電量が大きく変動することから、安定性の面で電力系統に悪影響を及ぼす可能性があります。その出力変動を緩和する役割を果たすキーデバイスが蓄電池です。再生可能エネルギーが普及していく中で、その需給制御に欠かせない蓄電池の市場も急速に拡大していくと予想されており、当社にとっても大きな機会であると考えています。

GSユアサは、パワーコンディショナや蓄電池をパッケージ化し、製品から施工、メンテナンスまでを一貫体制で提供できるAll in one ビジネスで、お客様への提供価値を高めるとともに、強みである「ネットワーク」「フットワーク」を生かすことで、常用市場での存在感を高めていきます。

GSユアサの強み

ネットワーク

DXを活用した保守・運用サービス

×

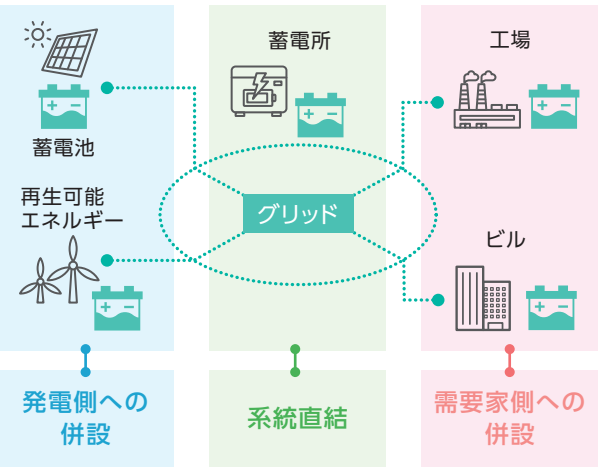
フットワーク

24時間365日対応可能なサポートサービス

再生可能エネルギー関連の概算予算

再生可能エネルギー導入拡大に向けた 系統用蓄電池等の電力貯蔵システム導入 支援事業	令和6年度予算案額 85億円
需要家主導型太陽光発電 及び再生可能エネルギー 電源併設型蓄電池導入支援事業	令和6年度予算案額 100億円
再エネ導入拡大を見据えた 系統用大規模蓄電池導入 支援事業(東京都)	令和6年度予算案額 130億円

出典: 経済産業省 令和6年度予算の事業概要
東京都 再エネ導入拡大を見据えた系統用大規模蓄電池導入支援事業



主な受注・納入実績

ENEOS(株) 室蘭事業所
(北海道室蘭市)

事業者	ENEOS(株)
稼働時期	2023年度
出力	50MW
容量	88MWh

ENEOS(株) 室蘭事業所

大阪国際石油精製(株) 千葉製油所
(千葉県市原市)

事業者	ENEOS(株)
稼働時期	2025年度
出力	100MW
容量	202MWh

大阪国際石油精製 千葉製油所

田川蓄電所(福岡県田川郡香春町)

事業者	NTTアノードエナジー(株)・九州電力(株)・三菱商事(株)
稼働時期	2023年7月～
出力	1.4MW
容量	4.2MWh

設置イメージ

北豊富変電所
(北海道天塩郡豊富町)

事業者	北海道北部風力送電(株)
稼働時期	2023年3月～
出力	240MW
容量	720MWh

蓄電池設備全景
提供元: 千代田化工建設(株)

本田技研工業(株) 熊本製作所
(熊本県菊池郡大津町)

事業者	本田技研工業(株)
稼働時期	2024年4月～
出力	2.6MW
容量	20MWh

設置イメージ

秋ヶ丘浄水場
(北海道稚内市)

事業者	北海道稚内市
稼働時期	2022年3月～
容量	2MWh

蓄電システム

大阪ガス 新型パワーコンディショナ併設型蓄電池設備(大阪市此花区)

実証実験締結先	大阪ガス(株)
実証運用期間	2025年4月～2028年3月(予定)
機器	パワーコンディショナ:500kW リチウムイオン電池:840kWh
検証内容	複数の電力市場に対応したマルチユース運用の検証・蓄電池の特性に合わせた最適運用制御パターンおよび蓄電池設備の動作検証

役割分担
【大阪ガス】 ・蓄電池設備の運用に必要な設備の構築と敷地の提供 ・電力市場での取引を模擬した、蓄電池設備の運用管理
【GSユアサ】 ・蓄電池設備の提供および運転・保守管理(O&M)対応の実施 ・データに基づく機器の改造・改善の実施および検討

(株)ニジオ 角子原パワーストレージステーション(大分県大分市)

事業者	(株)ニジオ
稼働時期	2026年度(予定)
出力	25MW
容量	50MWh

完成イメージ
作成: 千代田化工建設(株)
(GoogleMapおよび国土地理院の地図データを使用)

ユーラス白鳥バッテリーパーク
(福岡県田川市)

事業者	(株)ユーラスエナジーホールディングス
設置場所	福岡県田川市
運用開始時期	2024年1月～
容量	4.58MWh

リチウムイオン蓄電池設備外観

弥藤吾(やとうご)蓄電所
(埼玉県熊谷市)

事業者	坂東蓄電所1号合同会社
稼働時期	2025年2月(予定)
出力	1.96MW
容量	7.46MWh

弥藤吾蓄電所イメージ図

葎塚(いらづか)蓄電所
(群馬県伊勢崎市)

事業者	坂東蓄電所1号合同会社
稼働時期	2025年6月(予定)
出力	1.96MW
容量	7.46MWh

葎塚蓄電所イメージ図